

議 事 要 旨

日時	令和4年9月17日(土) 16時00分～17時00分	場所	今福小学校
出席者	今福小学校 PTA 約20名		
	城東区役所：大東区長、小川課長、田村課長代理、笠原		
議題	今福小学校 適正配置について		
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の再編整備にかかる検討(案) ・放出中学校区 学校再編整備計画(素案) ・今福小学校「学校配置の適正化にかかる説明会」質問・意見への回答【R4.9.17時点】 		

内 容

【統廃合した場合の課題(通学路)】

P①：統廃合による課題である通学路の安全対策に700～800万円とあるが、賛同できない人もいる中で無駄な税金を使うことにならないのか。また見守り活動は誰がやるのか。



区：民間事業者への委託事業として実施するものであり、地域の負担にはならないように考えている。金額はあくまで想定であり、またひとつの案であり実施するものと決まったものではない。また税金から新たな支出の増となるものではなく、統廃合による財政効果(一例として職員人件費、施設維持費の減や跡地の賃借料など)の範囲内で行うものである。

P②：放出小学校と統合になった場合、校区が他の学校に比べて広すぎるということはないのか。



区：条例においては、通学路の範囲は2km以内であると規定されている。統合した場合の通学路の状況については資料にも掲載しているが、最長で約1.1kmであり、他の校区と比べて極端に長いということはない。

P③：放出小学校と統合した場合、登下校で川を渡ることとなる。以前、氾濫の危険性がある中で川を渡って帰宅してきたことがあった。警報が出れば速やかに下校させることがマニュアルとなっているのかもしれないが、下校の際のリスクも考えてほしい。



区：緊急時に児童をいつ下校させるのかは校長の判断となる。最近では、大雨注意報や警報は早めに発令されるようになってきているので、情報収集をしっかり行い、適切な対応を行うように校長にも伝え、児童の安全を確保できるように努める。

【統廃合した場合の課題(児童への配慮)】

P④：今後統廃合が進められるのであれば、事前の交流活動はぜひしてもらいたい。子どもたちが嫌な思いをしないよう配慮してほしい。



区：考え方は資料に記載のとおりであるが、子どもたちの不安を解消できるよう校長にも対応をお願いする。

P⑤：前回、説明会に参加して、その内容を子どもに話をしたが、学校からは聞いていないようである。学校から子どもたちへの説明はするのか。



区：学校とは今後打合せし、説明時期や内容を検討していく。

【統廃合の時期・進め方】

P⑥：放出小学校との統合で考えられているが、距離的には鯉江東小学校の方が近い。その他の学校も含めて選ぶことはできないのか。



区：統廃合については、中学校区において検討するのが原則となっている。放出中学校区は今福小学校と放出小学校の2校のみであることから、放出小との統合という方向で検討している。

P⑦：統廃合の時期が記載されていないが、決まっているのであれば教えてほしい。統廃合することとなるのであれば、次年度の新入生は受け入れず、在籍する子どもたちが卒業してから進めるべき。



区：時期を決めてしまうと結論ありきの議論となり、さまざまなご意見をお聞きすることができなくなるため明示していない。できる限り不安を解消できるよう、いただいたご意見への対策を検討するなどしながら進めている。統廃合の予定時期については、今後、みなさまからのご意見に対して説明を尽くしたのち、区役所として判断をする。

P⑧：生野区などこれまで統廃合が行われた学校では、何年ぐらいかかって統廃合が行われたのか。具体的な年数を聞きたい。



区：どこを起点として考えるかであるが、ホームページに掲載されている説明会の実施日より以前から水面下で地域や保護者と意見交換しているケースが多く、それらも含めて5～6年かかる場合もある一方、もっと早く実施された地域もあると聞いている。具体的な年数等について確認のうえ、改めてお示ししたい。

P⑨：直前の案内であると、説明会の参加が難しいこともある。他の小学校では曜日や時間帯はどのような設定か。今後の説明会の開催日や時間帯などのスケジュールが決まっているのであれば教えてほしい。



区：他の小学校の例では、平日の夜や休日の午前中などさまざまであるが、多数の方を収容できる開催場所は限られており、その空き状況に合わせ、その都度PTA役員と調整のうえ決定している。

【まちづくり】

P⑩：学校を無くすことありきで話が進んでいるが、学校を存続させるためにどのような対応や努力をしてきたのか。



区：学級数が適正規模となるには、人口増加が鍵となる。企業誘致や地域の再開発などによりファミリー層を呼び込むことができれば、一気に人口増加も期待できると思われる。地域主体で再開発を進めていこうという流れであれば可能性はあるが、区としては人口増につながるまちづくり機能を持ち合わせていないため、予見できる範囲で現状分析を行い、進めていかざるを得ない。

P⑪：今福地域では、距離が近い理由で学校選択制により鯉江東小学校に通学する子どもも多い。そのことで、子どもどうしや子育て家庭とのつながりが弱くなり、祭りなどの地域行事がやりづらいという意見がある。小学校では学校選択制を廃止すべきである。



区：学校選択制は、城東区内のすべての学校が対象。制度に関する様々なご意見があることは承知しており、見直しについても教育委員会事務局と話し合いをしていく。※配布資料（質問・意見への回答）2ページのとおり

P⑫：学校の規模が小さいことで顔見知りも多く、地域全体で子どもを見守っていると感じているが、統合により通学区域が広がるとその密度が薄まってしまいうように感じる。また友達の家が遠くなり、その行き来が危なく、不安である。子どもどうしの交流が少なくなり、ひいては地域コミュニティが弱体化するのではないか。



区：統廃合により児童数が増えることへの不安を感じることは他にもよく聞く話ではあるが、今福小学校では過去に児童数が1,700人を超える時期もあった。しかし、地域活動が困難であったというわけではなく、一方、区内で（現在の）今福地域と同規模の地域もあるが、活動ができないということではない。現状から変わることによって不安を感じることもあると思うが、移行にあたり何らかの対策が必要であればその都度考えていく。

P⑬：廃校後の跡地に何が建設されるかが不安であり、何らかの配慮はしてもらえるのか。



区：跡地活用の事例について、配布資料（小学校の再編整備にかかる検討（案））の12ページに文部科学省HP内関連ページのQRコードを記載しているので参照いただきたいが、防災機能など必要なものは残しつつ、それ以外の部分については、学校施設を転用していくことが考えられる。地域の方々からの意見をいただきながら検討していきたい。

P⑭：学校の統廃合を検討するにあたり、教育関係のほか地域づくりの担当部署は入らないのか。



区：地域活動の支援や防災・防犯に関する業務を所管するのは市民協働課であるが、それらの課題も全て把握する区長として説明させていただいている。今日の発言内容は区としての責任ある発言だと考えていただいいてよい。

P⑮：今福地域の成人式はこれまで小学校で行ってきた。場所がなくなればどうしたらよいのか。



区：学校施設が他の目的に転活用された場合、基本的には統合後の学校や区民センターなどを利用していただくこととなるが、学校施設の所有者（または借用者）との話し合いにより使用させてもらうなど、跡地の活用方法に合わせて検討することになる。